

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	まるやまがわ 円山川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	兵庫県	対象市町村	とよおかし 豊岡市ほか4市町
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、県北部に位置する^{たじま}但馬地域の3市2町で構成され、県土総面積の25%を占めている。 本地区の森林面積は177千haで、このうち対象民有林は170千ha（森林全体の96%）、スギ・ヒノキを主体とする人工林は89千ha（人工林率52%）となっており、県平均の人工林率42%を上回っている。 人工林の齢級別構成は、9齢級以上のスギ・ヒノキ林等の面積が90%を占めており、成熟期を迎えた人工林について、資源の循環利用により健全な森林を育成するとともに、二酸化炭素の吸収源対策や生物多様性の保全等の公益的機能を高度に発揮する多様な森林を育成することが必要となっている。 しかしながら、林業経営の収益性の悪化やシカ等の獣害の拡大により、間伐等の森林整備の遅れや主伐・再造林の未実施等の林業サイクルの停滞が起こっているほか、近年の異常気象に起因した山地災害の発生により、森林の多面的機能の低下が危惧されている。 このため、本事業では、森林整備の担い手となる林業事業体の育成等と併せて、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、円山川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、間伐や主伐・再造林等の森林整備を計画的に実施するものである。
事業内容・事業費	森林整備：4,905ha 人工造林、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐、森林作業道等 総事業費：4,271,982千円（税抜き 3,883,620千円）
費用便益分析結果	$B/C=2.69$ （総便益（B）＝ 16,599,832千円 、総費用（C）＝ 6,171,290千円）
評価結果	必要性： 近年の集中豪雨等による山地災害の発生状況から、森林の多面的機能の維持・向上を目的とした間伐等の適切な森林整備の必要性が認められる。 効率性： 計画的な森林整備により効率化を図り、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。 有効性： 間伐等の適切な森林整備は、森林の多面的機能の確保及び原木の安定供給につながり、有効性が認められる。

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名： 兵庫県

地域(地区)名： 円山川

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,136,918	
	流域貯水便益	1,080,485	
	水質浄化便益	4,751,050	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,739,397	
環境保全便益	炭素固定便益	920,493	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,971,489	
総 便 益 (B)		16,599,832	
総 費 用 (C)		6,171,290	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,599,832}{6,171,290} = 2.69$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{23,861,289}{7,273,744} = 3.28$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{29,190,683}{7,968,023} = 3.66$		

森林環境保全整備事業 円山川地区（兵庫県）

